

Smile Toyooka.

【スマイルトヨオカ】

16 2015 February
豊岡市商工会通信

人めぐり
但馬だからできる
豊かな暮らしで幸せに
拡運建設株式会社
seed+ (シードプラス)
岸野 光生 さん

自然豊かな日高町神鍋で建築業を営む一級建築士の岸野光生さんにお話を伺ってきました。家づくりだけでなく、但馬だからできる豊かな暮らし方の提案に力を入れる岸野さん。冬になると万場のロッジでオーガニック素材にこだわった「トマトカフェ」を一人で切り盛りする姿が…。全ての根底には、但馬という地に対する深い愛情とお客様にただただ幸せをつかんでもらいたいという、純粹で熱い想いがありました。

町めぐり
各支部からの
報告・お知らせ
業めぐり
グランブルー
補助金採択者
インタビュー



拡運建設株式会社 seed+
代表取締役
岸野 光生さん

但馬ならではの ライフスタイルを提案したい。 拡運建設株式会社 seed+ (シードプラス)

Interview

但馬で暮らすことを意味のあるものに
僕は元々京阪神で育って、こっちで妻と出会って神鍋に移住してきたんです。全然縁もゆかりも無い地だったのですが、20年住んでみて但馬という所は自然が溢れていてすごくいい場所だと思ふし、人々の結びつきにはパワーがある。この先時代は変わって、その時新しいものをつくり出しているのは但馬のような地方都市なのではないかと思ふます。それもみんなが羨ましがするような暮らしや生き方をつくり出してほしい。だから今但馬に住む人が増え、但馬で暮らすことに価値を見いだして欲しい。但馬に家を構えるという事は、その人たちは生きていくという決意。ならば、その人たちは但馬だからこそできる豊かな暮らしを手に入れて、幸せに過ごして欲しい。そしてそういう人たちが増えることは地域活性に繋がっていくと思います。地域を作る工務店になりたい。そういう思いから家づくりの他にも暮らしを豊かにする為の方法を提案できるように、まずは何でも自分で実践してみたり、食について勉強するなど、色々なことにチャレンジしています。

仕事は自分のペースで
うちの会社はすごくフリーなんです。出勤時間もフレックスですし、会議もみんなが必要だと思っただけ集まるという形にして、ほとんどしなくなりました。朝、ゆっくり来る人もあれば、早く来る人もいます。日曜日に出動しなければならぬ人もいます。自分たちでルールを決めて、土木部はチームで活動しているし、建築部は設計・営業など担当の職種によって、みんなそれぞれです。小さな子供がいる社員は残業せず、家で仕事をしています。でも、それでいいと思うんです。自分たちが成果を上げられる一番いい方法を自分で選べばいいんです。みんな楽しんで仕事ができるのが一番です。から、ルールを守ることを重要視していません。ルールを決めて成果が上がるならルールを守ることが大事なのかもしれないけれど、もう今はそういう時代ではないと思うんです。物の豊かな

岸野さんのつくる家は、まっしろな漆喰の壁と暖かみのあるウッド調の、女の子なら誰もが憧れてしまうような家。名色にあるゲストハウスは月1で行われている暮らしの学校やイベントなどに使われており、予約すれば誰でも気軽に訪れることができます。大胆な吹き抜けや広いウッドデッキなど、暮らしを豊かにするヒントが至る所に散りばめられています。



自社で販売中の環境共生に特化した日高町伊府分譲地。

万場高原ロジック・トマトカフェ

万場スキー場のロジックは先代の時から30年以上運営しています。先代から引き継いでもう20年になるのですが、つい最近まで料理は他の所と同じ様にうどんや丼やカレーなど、冷凍で出す出来るようなものを出していたんです。でも、それじゃお客様は喜ばないじゃないですか。僕たちの店だからおいしく食べられる食事を提供したいし、僕たちの店だからできる新しい楽しさや面白さをお客様に体感して欲しい。新しいお客様は勿論、今万場に足を運んでくれているお客様にもっと満足してもらいたいと思うんです。今来てのお客様を十分に喜ばせることができたから、次新しく来るお客様も絶対楽しいですよ。人手もなくて一人でやらないといけないような状態なので辛いのですが、やっぱりやめられなくて。一人でやれる所までやって、そこで僕が経験できることは大きいです。お世話になった万場へ恩返しをしていきたい。そして何よりおいしいと言っていたのが嬉しいんです。「万場トマトカフェ」で検索していただいて、フェイスブックで取組みをご覧ください。

商工会を利用して

昨年の年末に、商工会に支援をいただいて、自分たちの理念とミッションをもう一回考え直す機会を設けることにしたんです。そういった機会をいただけたことは会社にとっても僕自身にとっても大きな前進でしたし、僕たちの会社業種に合った専門家を派遣し、問題解決に向けて的確な支援を実施してくれた商工会には本当に感謝をしています。他にも、商工会主催のおひねり勉強会に参加させていただいているんですけど、毎回勉強になりません。そこに集まるメンバーは皆さん隔週で水曜日に来られるんですけど、平日の水曜日に来るのって大変じゃないですか。でも、それでも毎回来てくれるんです。そこには何かあるから、何かを自分が手にしたいからなんです。そういうメンバーと出会う、共に学べるっていうのは素晴らしいことじゃないかな、と思います。そういう機会はやっぱり商工会員じゃないと作れないと思うし、毎回たくさん得る物があるから、これからも色々な勉強会を企画していただけたら嬉しいですね。

豊かな暮らしで幸せに

僕たちのつくる家にはここだけは絶対に変えない、という限定事項がいくつかあって、例えば漆喰なんかもそうですし、建築方法とか、調理器だとか、その他諸々。これらは決して便利で機能的ではないかもしれませんが、でもそれはすべて僕たちが考える豊かな暮らしに必要なものだからなんです。この考え方をやるようになったきっかけは、資材の取引でフィンランドに滞在した時の出来事です。18年前の話になりますけど、一番最初にフィンランドに行った時に取引先の材木会社の社長の家にホームステイしたんです。首都から車で1時間ほど離れた田舎、ちょうど豊岡の様な感じでした。彼の家では何故か10頭ほどの羊を飼っていて、そして家の中にもすごく立派な暖炉がありました。奥さんに、この暖炉、すごく暖かいんですよ。聞いていたら、全然暖かくない...この暖炉は暖房としては使わないの。先祖代々ここにあって、冬が来ると火を入れて家族みんなここに集



お客様に幸せを手に入れてもらう為に豊かさを買っていただけるようにならないといけない、と語る岸野さん。休日の午後にはストーブを焚いてピザを焼いたり、野菜・果樹を育てソースを作ったり...家族みんな豊かに暮らしていく方法をたくさん提案できるよう、まずは自分で実践するのだそう。

トマトカフェでは、岸野さんが選び抜いたオーガニック食材を使用しています。ランチは得意のトマトソースメニューが3種類で、カフェスイーツも手作りされています。

まるの。みんなで集まって団らんしたり本を読んだり音楽を聴いたりする時間をつくるためにこの暖炉があるのよ。そう言われて、僕は泣きそうになったんです。それまで暖炉というものは暖房の為に入れるものであって、それを心地よい暖房器具として考えていたんです。でもフィンランドの人たちは何百年前からそれを生活の中に組み込んでいて、暖房器具ではなく自分たちの豊かな暮らしの為に暖炉があるのだと言うんです。庭にいる羊も決して羊毛を売る為に飼っているのではなく、この羊を飼うことで自分たちが動物とふれあい、ここで暮らすということの意味を子どもたちに受け継いでいくため

収穫した羊毛でお母さんが子どもたちに帽子や手袋を編んだりする自分たちの習慣が大切な、だからその為に羊を飼っているんだって。百貨店に行けば安くてもっといい物を買えるけど、それでは絶対手に入らない物をこの羊たちは私たちに与えてくれるんだ。あの美しいフィンランドの風景の中でそんな話を聞いたら泣きますよ。この人達はすごい、と。それがきっかけです。そんな考え方を形にして、お客様に薦められるようになったのは5年ぐらい前からです。それまでの間は分かっていながら形にはできなかったし、お客様の言うことをそのまま実現していませんでした。だからある意味僕たちのやり方っていいのは商売としては適してないのかもしれない。万人には受けないわけですから。但馬に年間300軒の新築の家が建てられていると僕たちのことをいいなと思って家を建ててくれる方は最高で15軒くらいです。シェアで言うところの全体の5%ほどです。それを越えることはおそらくないんです。でもその5%の方たちは、僕たちのお客さまを心からサポートしてくれるんです。僕たちのお客さまは完成引渡し式の時に涙されます。ご主人も奥様も、明日からここで自分たちの新しい生活が始まるんだと、感激が胸いっぱいになるんです。設計する者も現場管理する者も営業する者も、今日までの様々な想いが交差し、もらい泣きして、みんなで大泣きするんです。毎回。それって本当に幸せですよ。僕たちは僕たちの考え方をこれからもずっと通していきたい。事業を広げていくことは目的とせず、僕たちのことをいいと思ってくださる方と出会って、その人達と一緒に幸せになりたい。そんな風にできる組織をつくって、それで運営している会社をつくろう。そこでお客様と僕たちはいつも笑顔でいられるようにしたい。その為にこれからも事業をしていきたいですね。

概要
事業所名 / seed+ (シードプラス)
住所 / 拡運建設株式会社
〒669-5379
豊岡市日高町名色1330-1
TEL / 0796-45-0206

報告

新春会員親睦交流会

●1月21日(水)

新春会員親睦交流会(参加者60名)を開催しました。第1部に研修会「初めまして…今から始める名刺交換」をテーマに、コムポートオフィスの今井ひろ子氏を講師に迎え、名刺交換のわずか1分の自己PRの大切さについて、実践を交えて実施しました。第2部の懇親会も賑やかな会となりました。



町めぐり

Town Information



平成27年1月3日早朝、城崎町内で火災が発生しました。商工会会員事業所では死者1名・全焼5棟・半焼2棟・水損6棟の被害が出ており、心よりお見舞い申し上げます。現在、多くの方に義援金のご協力をいただき、ありがとうございます。商工会として各方面と協力しながら城崎町全体で復興に向けて取り組んでいきますので、今後も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



報告

竹野地域の観光客増加に係る情報発信事業 視察研修「神戸市 ホテルラ・スイートとカフェフロインドリーブ」

●1月27日(火)

「地域食材を使った地域の活性化について」をテーマに視察研修(参加者21名)を実施しました。研修1は、ホテルラ・スイートの総料理長・鎌田雅之氏を講師にテーマについて研修しました。研修2は、神戸の古い教会を改装した人気のあるスイーツ店カフェフロインドリーブを視察しました。視察研修での気づきを次年度事業へ繋げたいと思います。



藤原次郎先生による、神鍋高原誘客促進事業—神鍋スケッチが完成しました!



報告

報告

新春会員親睦会

●1月17日(土)
HOTEL KOSHO

足元の悪い中でしたが、来賓、会員80名が集い、大いに親睦を深める事ができました。今年度は但東町の如布青年会による「如布神楽」が新年を祝う「幣の舞」と「乱の舞」を披露してくれました。



お知らせ

第6回 とくまるゼミナール

～お店の人が教える体験教室～
知って得する体験教室～

●3月20日(金)～4月19日(日)

※手作り豆腐講座や初めてのジオカヌー & ジオパーク講座などの他に、春休み企画としてキッズや親子で参加できる企画もご用意しています。

FBページ「とくまるゼミナール」で検索!

受講料:無料(内容によっては材料費がかかる場合があります)



通称「まちゼミ」

プロの技を楽しく体験・学習! お店の人が教えてくれる知って得する体験教室です。お客様は基本的に無料でイロイロ学べて「満足」、お店には「新規顧客・ファン」が生まれ、まちに「賑わい」が生まれる。三が(さんぼう)よし!の取り組みです。ぜひ「お店」と「まち」のファンになって下さい。たくさんのご参加お待ちしております。



神鍋ハートフル食プロジェクト

●12月11日(木)

アスリート向けの食事の調理実習として「NOMO ベースボールクラブ」へお弁当の提供と調査をさせて頂きました。1300キロカロリー越えの「アスリート弁当」は「疲労回復」と「体力アップ」を意識し、彩り、バラエティ豊かに仕上がりました。



報告



出石せいもん払い

●12月14日(日)

被災地域元気回復支援事業として、今年も出石せいもん払い事業を開催しました。イベントのメインとなった、もち花作り・正月しめ縄作り・そば巻き寿司・餅つきなどの体験教室は、小さなお子様から大人まで大勢の参加者で賑わいました。つぎたてのお餅は『カレー雑煮』として振る舞い、観光客に大好評でした。力を合わせて作った巨大しめ縄はライトアップし、商店街の中心に飾られ、年の瀬を明るく照らしてくれました。



報告

地域活性化懇談会 並びに新年賀詞交歓会

●1月17日(土)

シルク温泉「やまびこ」

シルク温泉「やまびこ」にて45名の参加のもと地域活性化懇談会・新年賀詞交歓会を開催しました。第1部懇談会では、但東自動車株岩出公直氏より「商工会補助金を活用した事業展開」をテーマに話を聞き、豊岡市ものづくり補助金の活用や持続化補助金によるホームページの立ち上げ、東京での展示会出展による景況の違い等の話をされ、好きな仕事をやりつづける事の大切さを講演いただきました。第2部の交歓会では、来賓の方や会員相互の情報交換と親睦が深められ有意義な会となりました。



視察研修

朝来市「竹田城下まち商店街」

—旧木村酒造 EN 本格フレンチランチャー

●3月24日(火)

「いかにして儲かる地域をつかっていくのか?」創業経営支援の取り組みについてお話を聞かせていただきます。ぜひご参加ください。

お知らせ

出石初午大祭

●3月20日(金)(宵宮)・21日(土)(本祭)・22日(日)(後宴)

但馬に春を告げる祭りと言われる『出石初午大祭』が開催されます。城下に並ぶ露店は、子ども達には珍しい、大人には懐かしいお祭りの光景です。皆さまのお越しをお待ちしております。

お問い合わせ先 出石初午奉賛会事務局 (TEL:0796-52-2113)



業めぐり

Various Works



JGFA1996年オールタックル部門で世界記録を更新



Grand Blue

グランブルー（代表 林孝紀氏）は、平成14年に豊岡市竹野町竹野でルアーフィッシング専門船のサービスを始めた。ルアーフィッシングとは、生き餌を使う従来の釣りとは違い、疑似餌（ルアー）を用いて行う釣りのことで、スポーツ感覚で若い人から大人まで幅広い層で支持され楽しまれている。

漁場は、竹野新港から出船し、ポイントまで近場で約10分、遠方でも40分程度の但馬沖から丹後半島沖までジギング（大物）を中心に潮の流れや魚の寄る鳥島（ナブラ）などポイントをさぐり、一年中ヒラマサやブリ、マルゴ（メジロ）、ハマチをメインに狙って、お客様にルアーフィッシングの楽しさを提供している。

釣れなかったお客様に、「忘れ物をしたんできた来ます。林さんの顔を見に懲りずに来るからね。」と言っていたとどとでもうれしく、お客様にありがたうと言っていただける関係を作りたいと、林さん。

また、林さんは、釣った魚にタグをつけて放すということもしている。これまでに約5000本のタグ付けをし、資源保護に努めている。



疑似餌（ルアー）

JGFA スプラッシュに所属し、タグ&リリース委員を務めている。



グランブルー
〒669-6201 豊岡市竹野町竹野2418-1
携 帯 090-1022-9970
webサイト <http://www.grandblue.org/>



補助金探択者 インタビュ―



和モダンダイニング
たけなわ
廣瀬洋二

和モダンダイニング たけなわ
〒668-0022 豊岡市小田井町1-4
TEL 0796-20-4416
営業時間 17:30~23:30 (ラストオーダー23:00)
定休日 日曜日(相談に応じます)

平成26年7月に創業、「本格的な割烹料理を気軽に味わっていただきたい」をモットーに、「旬」を大事にした季節の食材を使い、旅館で培った技と経験で本格料理と美味しい地酒を堪能できます。店内は「たけなわ」の由来となった竹をテーマにした落ち着いた雰囲気、大人のためのくどくどとおきの隠れ家」として人気を集めている新スタイルの和食店です。

利用した補助金名
創業補助金

制度をどこで知りましたか？
創業に向けて近畿圏で開催されているあちこちのセミナーに参加し、ビジネスプランを作成していました。あるセミナーで専門家の先生に声をかけていただき、地元の商工会とつながっていただきました。商工会でも創業塾を開催されており、そこで創業補助金という制度があることを教えていただきました。

補助金を申請しようと思ったきっかけ
いつか独立したいという夢を持っていましたが、家庭の事情もあり一歩踏み出すきっかけがつかみませんでした。創業資金で創業資金を一部援助していただける可能性があると聞き、創業補助金に挑戦してみようと思いました。

申請するうえで苦労したこと
前職では板長として調理場を切り盛りしており、休みもとりにくく中で創業計画を書き上げるのに苦労しました。かねてよりビジネスプランは考えていましたが、いざ計画を書いていると甘い部分もあり、修正を加えながら創業計画を完成させました。特に資金計画は思ってもみない資金が必要になることもあり、調整が難しかったです。

採択されたときはどうでしたか？
最終応募のタイミングだったため、採択率が30%を切る厳しい状況でした。まさか自分の計画が採択されるとは思っておらず、しばらく信じられませんでした。いいタイミングで挑戦することができ、感謝しています。

専門家からのアドバイスは受けましたか？
創業補助金の申請書の作成、売上計画や広報戦略について、それぞれの専門家からのアドバイスを受けました。一人で考えていても、知らないことや分からないことが多かったため、適切なアドバイスを受けることができて助かりました。

今後のビジョンは？
夢を実現することはできましたが、まだ雇用や売上の面で思い通りいかないこともあります。まずはきちんと経営を安定させ店を長く続けていくこと、昼の営業や2号店の開業により、より多くの方に当店の味を楽しんでいただきたいと考えています。

商工会に期待することはありますか？
創業前から、現在まで様々な相談に乗っていただきました。これからも地元の若者が夢を実現できるお手伝いをしていただき、地域に多くの創業者とにぎわいを創出していただきたいと思っています。

皆さんへのメッセージ
経営者になるということは単なる雇われの身より、家族や社会に対する責任も重くのかかってくると思います。でも自分の夢を叶え、お客様に喜んでいただけることほど素晴らしいことはありません。皆さんもやりたいことを実現するために、努力を惜しまないでください。あと、創業するまでにできるだけたくさん貯金しておいてください(切実です！)。



まめcafe
〒669-5307 豊岡市日高町松岡8-6
TEL 0796-20-3825
営業時間 11:00～18:00
(ラストオーダー17:30)
定休日 日曜日、月曜日



おいしい豆腐 蘇武の里
〒669-5376 豊岡市日高町万劫190-1
TEL 0796-45-2692
営業時間 10:00～17:00
定休日 月曜日、火曜日



**おいしい豆腐
蘇武の里
川田四郎**

当店は平成18年6月に開業した手作り豆腐専門店です。開業時から①国産大豆と、神鋼高原の美しい水と空気を使った豆腐作り②職人歴40年の店主による、伝統的な手作りに③当日製造の豆腐のみを販売の3点を厳守し、安心安全で風味豊かな豆腐をお客様へ提供してきました。また平成25年には娘夫婦が豊岡市にUターンし、姉妹店「まめcafe」を豊岡市日高町内にオープンさせました。同時に娘婿は豆腐作りの後継者として当店で修業を始め、豆腐作りの伝統と文化を引き継ぐべく頑張っています。

利用した補助金名

小規模事業者持続化補助金
制度をどこで知りましたか？

商工会より派遣していただいた専門家の先生より教えていただきました。

補助金を申請しようと思ったきっかけ

ここ数年販売実績が伸び悩んでおり、商工会より派遣していただいた専門家の先生に相談しました。結果、商品そのものではなく、開業当初より手薄な「商品の宣伝手法」に問題がありそうでした。補助金はこの「宣伝手法」に対しても補助が行われるため、申請を検討しました。

申請するうえで苦労したこと

申請書作りが一番大変でした。説得力があり且つ読みやすい内容にするため、現在当店が置かれている状況を、数字を用いながら客観的に記述する必要がありました。ところがこのような書類作りはほとんど経験が無かったため、何度も商工会の方々と専門家の先生にアドバイスをいただき、ようやく完成させることができました。

採択されたときはどうでしたか？

ホッとすると同時に、これから補助金を活用して成果を出していかなばならないという責任感を感じました。また、相談に乗っていただいた商工会の方々や専門家の先生に感謝でした。専門家からどのようなアドバイスを受けましたか？

現在の状況を数字（証拠／エビデンス）を示しながら客観的に分析し、仮説を立て、その結果として必要な施策を立案するようにとのアドバイスをいただきました。

今後のビジョンは？

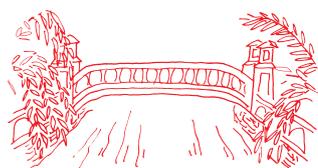
今回の補助金申請にあたり、「蘇武の里」のブランド化への必要性を強く意識しました。今後引き続き「ブランド化」を念頭に置き、姉妹店「まめcafe」と連携しながら様々な施策を展開していきたいと思っています。そして将来、豊岡市の特産品の一つとして当店の商品が挙げられるように、引き続き精進していきたいと思っています。

商工会に期待することはありますか？

入会当初はただ会員になっただけで、あまり商工会を活用していませんでした。しかし今回の申請を通じて、驚くほど商工会の方々が親身になって相談に乗っていただけのを知りました。今後も我々小規模事業者にとって、頼りになる商工会であって欲しいと期待します。

皆さんへのメッセージ

私自身このような申請にはほとんど経験が無く、当初戸惑ってはかりでした。しかし商工会の方々は一生懸命対応していただけていますので、申請を迷われている方は、まず商工会へ相談されることをお勧めします。



豊岡市城崎町湯島地区大火災
復興・復旧支援募金にご協力ください！

豊岡市商工会では今年1月3日に城崎町で発生した大火災の復旧・復興支援募金のご協力をお願いしております。詳細は商工会HPまたは事務局までお問い合わせください。

豊岡市商工会
とよおか おーとろっしや!
ねっとわーく
facebook
♡いいね!

豊岡市商工会 <http://ingnet.jp>

- 本部 / 〒669-5311 豊岡市日高町日置65-1 TEL.0796-42-4751 FAX.0796-42-4350
- 竹野支部 / TEL.0796-47-1771 ■城崎支部 / TEL.0796-32-4411 ■日高支部 / TEL.0796-42-1251
- 出石支部 / TEL.0796-52-2113 ■但東支部 / TEL.0796-56-1178

編集後記……暦の上では春となりました。まだ寒い日が続き、あたたかい春が待ち遠しいですね。
会員の皆さまが笑顔で企業活動が行われるように願って「SMILE TOYOOKA」(スマイルとよおか)として会報を発行し、今後も頑張っている企業、魅力を情報発信している地域にスポーツをあて、広く多くの皆さまにお知らせしていきます。